

# 第4回龍郷町子ども博物学士講座

## た 田んぼの生き物SOS



第4回子ども博物学士講座「田んぼの生き物SOS」と題し、奄美マングースバスターズ山室一樹さん、奄美海洋生物研究会 木元侑菜さんを講師にお迎えし、10月29日(土)、龍郷町大勝加世間又の田袋にて実施しました。講座では、田んぼの生き物に触れる班、野鳥を見る班にわかれ、楽しいひと時を過ごしました。最初は田んぼに入るのをためらっていた子ども達も最後は、夢中に・・・(笑)講師の山室さんは、先ず、「ここの一帯には特定外来生物となるボタンウキクサやナガノエツルノゲイトウ等が繁殖していますが、とても繁殖力が強い植物なので、集落ぐるみ・町ぐるみで駆除に取り組む必要がある」と訴えました。田んぼを残すことは、水生生物の棲み処になるのはもちろん、洪水を防いでくれたり、土砂崩れを防いでくれたり、美しい景観を作ってくれたり、暑さを和らげてくれる効果等あります。今講座に参加した、龍瀬小6年生の矢野りりこさんは「虫がきらいだったけど、だんだん楽しくなってきました。また次も参加したいです。」、秋名小2年生の楠元 杏さんは「望遠鏡でオオサギを見て、見た目は首が長くなかったのに望遠鏡で見たら首が長かったのでびっくりしました。」と感想を述べました。龍郷町には、秋名集落の田袋を始めとし、まだ僅かながら水田が残っています。この素晴らしい環境を皆さんとともに守っていかれたらと思います。

次回は、12月17日(土)、「奄美の森は玉手箱!!～自然観察の森～」を予定しておりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。



(参加者:児童41名,未就学5名,保護者26名,合計72名)